

## －はじめに－

近年、都市化や過疎化の進行、家族形態の変容、価値観やライフスタイルの多様化を背景とした地域社会等のつながりや支えあいの希薄化などにより、地域や家庭における教育力が低下していることが、各所より指摘されています。

また、子どもたちを取り巻く環境が複雑に変化するなか、社会全体で子どもの育ちを支える持続可能な地域の教育基盤の形成を図るため、地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚し当事者意識をもって教育を担う仕組みをつくり、社会総掛かりでの教育の実現を図ることが求められています。

このような中、学校教育の土台となる家庭、地域が担うべき役割は何かを意識しつつ、幅広い地域住民の参画により子どもたちの成長を支える「地域と学校の連携協働活動」の推進や、地域で家庭を支える「家庭教育支援チーム」の普及促進など、学校、家庭、地域の教育力の充実に向けた取組の県全体での展開を目指してまいりました。

今年度は、従来の「学校支援地域本部」、「放課後子ども教室」、「家庭教育支援活動」、「土曜日の教育支援体制等構築事業」、「学ぶ力を育てる土曜学習支援事業」の拡充に加え、地域人材を生かした放課後等の学習の場づくりとして、「地域未来塾」の取組を新たに始めたところです。

本実践事例集は、地域全体で学びあい支えあう仕組みづくりの推進に資するものとして、各市町の工夫や努力によって取り組まれたこと（今年度は、掲載希望をされた市町独自の取組も含む）をまとめたものです。県内の実践を参考に、事業の更なる拡充に取り組んでいただければと思います。また、今後、地域と学校の連携協働活動の推進をお考えの市町におかれましては、本実践事例集を参考にお進めいただければ幸いです。

最後になりましたが、日頃より地域において本事業をはじめ、「社会全体で子どもの育ちを支える環境づくり」に献身的なお取組をいただいている関係の皆様にご心より感謝申し上げますとともに、今後も引き続き御支援をお願いいたします。

また、本事例集の編集に際し、貴重な情報の提供や原稿をお寄せいただきました関係の皆様にご厚く御礼申し上げます。

平成 29 年（2017 年） 3 月

滋賀県教育委員会事務局

生涯学習課長 大西 良子